

下松市立笠戸小学校閉校記念誌

忘れえぬ記憶 私たちの

笠戸小学校



■ 校 章（制定 昭和28年）



由 来

「松生い茂る山に三方を囲まれた学校が、大きく下松市に抱かれていることを松の針葉によって象徴されている」 ※笠を囲っているのは松の針葉

■ 校 訓（制定 昭和58年）

誠実

まじめで素直な子

協和

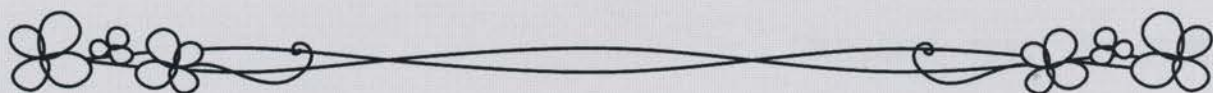
仲良く力をあわせる子

気迫

やる気でがんばる子

■ 校 旗





笠戸小学校校歌

作詞 橋本 正之

作曲 片山 正見

$\text{♩} = 120$

な な つ の - う ら の う み あ お - く

し お な る お と を き き な が ら

し ま で う ま れ た う み の こ が

げ ん き な ち か ら く み あ わ せ

ゆ る が め か さ ど し ょ う が っ こ う

校歌

作詞 橋本 正之
作曲 片山 正見

一

七つの浦の 海青く
潮なる音を 聞きながら
島で生まれた 海の子が
元気な力 くみあわせ
ゆるがぬ 笠戸小学校

二

鎌石みさき 松こゆく
緑の風が 吹くなかを
島で育った 風の子が
素直な心 よせおおて
たゆまぬ 笠戸小学校

三

太華の山の 空とおく
ま白い雲が 流れとぶ
島で鍛えた 強い子が
明るい希望 語りつつ
のびゆく 笠戸小学校



笠戸小学校校舎



平屋時代の校舎（明治43年～昭和25年）



2階を増築した校舎（昭和26年～昭和34年）

航空写真



1977年（昭和52年）創立100周年記念写真）



1985年（昭和60年）



1996年（平成8年 創立120周年記念事業）



2004年（平成16年 交通安全無事故10000日達成）



現在の校舎（昭和35年新校舎2階増築・給食室新築）



校舎二階からの眺め

目 次

校章・校訓・校旗

笠戸小学校校歌

笠戸小学校校舎変遷

航空写真

現在の校舎・眺め

閉校に寄せて p 1

下松市長 p 1

下松市教育委員会教育長 p 2

笠戸小学校長 p 3

笠戸小学校 P T A 会長 p 4

笠戸小学校の歩み p 5

沿革史 p 5～p 6

児童数の推移・校長 P T A 会長名 p 7

平成元年度以降の児童・教職員 p 8～p 10

卒業者名簿 p 11～p 12

学校生活の思い出 p 13

写真で綴る学校生活 p 13～p 22

私たちの笠戸小学校（児童作文） p 23～p 24

平成 2 5 年度児童・教職員写真 p 25

教職員メッセージ p 26

本浦地区全景

笠戸小学校の思い出とともに



風光明媚な笠戸島本浦の地で136年にわたり、地域の皆様と共に歩んできた下松市立笠戸小学校が、平成26年3月を以って、その歴史に幕を閉じることとなりました。笠戸島を訪れる方々が、笠戸大橋から見える趣きある笠戸小学校の校舎を眺めながら、このように恵まれた自然環境のもとで学べることをどれほどうやましく思われたことでしょうか。誠に寂しく、残念な思いであります。

しかしながら、過疎化や少子化による児童の減少により、近年は学校維持が大変厳しい状況にありました。そのような中でも校長先生をはじめ学校関係者の皆様は、小規模校ならではのきめ細やかな教育と深い愛情をもって学校運営にあたってくださいました。

学校は地域の教育の拠点ですが、特に笠戸小学校は公民館を併設していることから学習や文化、地域コミュニティーの場として深く地域と関わり、かけがえのない心の拠り所として、共に発展してまいりました。地域の皆様には、これまで学校運営に格別のご理解とご協力をいただき、また、笠戸小学校の閉校にあたっては、教育環境や子ども達の将来のためにご理解をいただいたことに対しまして、心から敬意を表するものであります。

笠戸小学校は閉校となりますが、将来を担う地域の子ども達がこれまでと同様に明るく活力に満ち、健やかに育っていくように地域の皆様にはなお一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。そして、笠戸小学校で学ばれた皆様、地域の皆様、関係者の皆様方の心の中に、いつまでも笠戸小学校の思い出が生き続けていくことを心から祈念いたします。

本年度、笠戸島にあった3つの小学校が閉校いたしますが、私といたしましては、地域の皆様とともにさらに夢と活力、魅力ある笠戸島を目指して今後も引き続き努力してまいります。

終わりに、今日まで長年にわたり学校の発展に尽くされた歴代校長先生をはじめ教職員の皆様、歴代PTA会長や保護者、地域の皆様、さらには多くの学校関係者の皆様に厚く御礼を申し上げ、閉校にあたっての御挨拶といたします。

平成26年3月

下松市長 井川 成正

七つの浦に思いを込めて



校歌に「七つの浦の海青く、潮なる音を聞きながら」「鎌石みさき松こゆく、緑の風が吹くなかを」と詠われておりますように、豊かな自然に抱かれた下松市立笠戸小学校の閉校にあたり、肅々として想いを寄せたいと思います。

明治10年、本校の前身である平田小学校笠戸分教場が本浦の光明寺に開校いたしました。

その後、教育制度や校名の変更、校舎の移転等、幾多の変遷を経て今日に至るまで、学校教育目標の具現化に向け、不断的努力とよき校風と伝統を築いてこられました。また、昭和58年に制定された「誠実・協和・気迫」の校訓のもと、郷土に誇りをもち、自らの夢の実現に向かって未来を切り拓く、健康で心豊かな子どもの育成に向けて、真摯に教育活動を積み重ねてこられました。

特に、花いっぱい運動における数々の受賞や交通安全推進児童隊の活動のもと、交通無事故10,000日を達成される等、環境教育や交通安全教育における実績は特筆すべきものがあります。

さらに、近年では、平成8年に結成された笠戸太鼓や島3校の集合学習等、地域の特色を生かした教育活動に力を注がれる等、地域の方々との和と協調を基盤にした教育活動は、同窓生には心のふるさととして、地域では生涯教育や文化のふれあいの場として重要な役割を果たされるなど、その実績は計り知れないものがあります。

本年度末をもって、真紅の笠戸大橋と同様、地域の「心の架け橋」であった本校が、136年の歴史に幕を閉じることは、誠に残念であり、同窓生や地域の方々にとっても感無量と拝察いたしますが、今後も諸先輩の業績を継承し、人づくりと地域づくりが創出されることを切に祈念する次第であります。

終わりにあたり、「笠戸教育」を陰に日向に支えてこられた歴代の校長先生をはじめ諸先生方、保護者、地域や関係する多くの方々に、心から敬意を表するとともに、深甚なる感謝とお礼を申し上げ、閉校に寄せての御挨拶といたします。

平成26年3月

下松市教育委員会教育長 相 本 晃 宏

伝統ある学舎へ感謝



昨年4月、新任校長として本校に赴任しました。私にとって下松市は未踏の地でした。これから勤務する学校がどんな所なのか不安と期待に胸を躍らせ、瀬戸内の静かな風を見下ろしながら笠戸大橋を渡ったのが、つい昨日のことのようです。校舎の裏手まで来たとき、眼下に臨む青い海に映える真っ赤な大橋、そびえ立つ裏山から聞こえる小鳥たちのさえずり、優雅に空を舞うトンビたち、温もりのある木造校舎、目に映る全ての風景にしばらく足が止まったのを思い出します。

本校は、このような恵まれた自然環境とすばらしい地域の方々に支えられ、136年もの間、小規模校の良さを活かした特色ある教育活動が展開されてきました。昭和の時代から続いている学芸会（現学習発表会）やPTAによる「笠戸の自然を見直す会」、「花いっぱい運動における花壇づくり」さらに、平成に入ってから、一輪車が平成2年度から24年間、また、笠戸太鼓が平成8年度から18年間と新たな伝統も引継ぎ、校内にとどまらず多方面で業績を上げ活躍してきました。

今年度は、本校開校以来、最も少ない児童数5名でのスタートとなりました。学びを通して、ふれあいと感動のある学校経営を目指し、教職員一丸となり、少人数の強みを活かした教育活動に取り組んできました。

学校には、古いアルバム写真がたくさん残っています。一枚一枚を眺めてみると、笠戸の海で遠泳をしていた時代、県道笠戸島線を走っていた頃の校内マラソン大会、周南市の須磨小学校との交流や笠戸島3校での交流など、今に至るまでの経緯を知り、モノクロームの世界に懐かしさと歴史を感じました。また、子ども達のために保護者が力を合わせて学校の遊具を造ったり、池の掃除をしたりするなど、いつの時代も学校を支えてくださったご苦労に改めて敬意を表したいと思います。

本校から1,566名の児童が巣立っていきした。3月31日をもって136年間の歴史を閉じますが、この学舎で未来に向かっての育みが高い志をもって展開されたことは、地域の財産であり、誇りだと思います。

終わりに、開校以来、本校教育推進にご尽力いただいた多くの保護者・地域の方々と教職員の諸先輩の方々に心より感謝と御礼を申し上げます。

平成26年3月

下松市立笠戸小学校 校長 溝部 哲正

ありがとう！！ 笠戸小学校



父母の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り有難うございます。私の母校でもあります笠戸小学校の閉校にあたり、PTAを代表しまして一言御挨拶申し上げます。

瀬戸内海に浮かぶ風光明媚な笠戸島で移りゆく四季を感じながら、子ども達とともに歩んできた笠戸小学校が、136年の歴史に幕を閉じようとしています。明治10年、平田小学校笠戸分教場として産声をあげ、多くの子ども達が学び遊び、積み重ね創ってきた伝統がここにあります。そして卒業生はもとより、歴代の校長先生はじめ諸先生方、そして笠戸小学校に携わったたくさんの皆様、地域の皆様の思い出がここにあります。そんな先輩諸兄の思いの一つひとつが細胞となり、現在の笠戸小学校在校生に受け継がれてきたのだと思います。

私が在学している頃にはなかった、「笠戸の自然を見直す会」「一輪車」「笠戸太鼓」も脈々と受け継がれ、歴史を積み重ねてきました。また、運動会、奉仕作業、学習発表会、バザー等、PTA会員だけでなく地域の皆様に協力を頂きながら行事を行う中、笠戸小学校は子ども達の学びの場にとどまらず、地域の団結の場、憩いの場、交流の場として地域の心のよりどころになっていたと思います。

このように、長い時間をかけ、学校の先生方だけに任せた教育ではなく、学校、地域、PTAが互いに連携し、協力して創り上げてきたのが、本校の良さであると思います。

そして、素晴らしい環境で育った児童は、平成26年度から下松小学校に通うことになります。学級数、児童数も増え、今まで子ども達が慣れ親しんだ環境から変化することに、戸惑うこともあると思いますが、校歌にも謳われているように、島で生まれた海の子が、島で風の子に育ち、島で鍛えられて強い子に成長した「笠戸っ子」魂で、明るい希望を語りつつ下松小学校で大きく羽ばたいてほしいと願います。

最後になりますが、閉校行事・記念誌制作に当たり、お世話になりました関係各位の皆様方に深く感謝し、御礼申し上げます。

笠戸小学校児童の育成にご尽力いただきました歴代の校長先生をはじめ、諸先生方、保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。今後共、地域の子ども達に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げ、閉校にあたっての御挨拶とさせていただきます。

平成26年3月

下松市立笠戸小学校 PTA会長 原 田 晃 雄

笠戸小学校の歩み

■学校の沿革

明治10年	3月	平田小学校笠戸分教場となる（光明寺）
20年	4月	小学校令により笠戸簡易小学校として独立 笠戸神社の下に校舎建築
25年	9月	改正小学校令により、笠戸尋常小学校と改称
43年	10月	現在地に校舎建築（平屋3教室）
昭和3年	11月	2教室を増築 運動場を拡張
16年	4月	笠戸国民学校と改称
21年	4月	教育後援会及び母の会結成
22年	4月	六・三制により笠戸小学校と改称
25年	4月	教育後援会を笠戸小学校PTAと称す
26年	4月	2階建、3教室増築並びに講堂及び図書室増改築
27年	3月	国旗掲揚台建設
28年	7月	講堂改造落成、校章制定
32年	4月	校歌制定発表会
33年	10月	創立80周年記念式典
35年	10月	新校舎2階建増築並びに給食室新築
42年	11月	創立90周年記念式典
43年	4月	講堂を笠戸公民館として併用
51年	9月	笠戸小交通安全推進児童隊結成
52年	11月	創立100周年記念式典
	3月	新国旗掲揚台建設、航空写真撮影
53年	7月	笠戸小プール完成
	11月	第2回県大会で笠戸小PTA受賞
54年	5月	交通安全無事故1000日達成記念式典
57年	3月	交通安全無事故2000日達成
58年	7月	校訓制定（誠実・気迫・協和）
59年	11月	交通安全無事故3000日達成
61年	10月	「たくましい防長っ子を育てる運動」実践発表会
62年	8月	交通安全無事故4000日達成
63年	3月	児童図書の実施
平成元年	5月	環境保全協会会長賞受賞
	11月	花いっぱい優良賞受賞（市）
2年	2月	環境美化教育実践優良校表彰
	5月	月交通安全無事故5000日達成
	5月	島3校集合学習開始
	11月	花いっぱい優良賞受賞（市）
3年	8月	全国学童水泳優良賞表彰
	8月	校舎改修工事
	11月	花いっぱい優良賞受賞（市）
4年	11月	花いっぱい優良賞受賞（市）
5年	2月	交通安全無事故6000日達成記念式典
	2月	飼育小屋完成
	11月	花いっぱい会長賞受賞（市）
6年	3月	歴代校長写真、校長室に掲示
	8月	講堂屋根のペンキ塗り替え
	8月	校舎、給食室屋根瓦のふき替え
	11月	花いっぱい優秀賞受賞（市）
7年	11月	交通安全無事故7000日達成記念式典
	11月	花いっぱい優秀賞受賞（市）
8年	9月	開校120周年記念事業として小鳥小屋設置、航空写真撮影
	11月	笠戸太鼓の結成
	11月	花いっぱい優秀賞受賞（市）



校歌制定発表会



創立100周年記念式典



花壇コンクール「花と緑の会」
会長賞受賞

- 9年 8月 教室、特別教室出入口戸・廊下側窓アルミサッシに取り替え
8月 児童、職員トイレ水洗化
11月 花いっぱい優秀賞受賞（市）
- 10年 8月 交通安全無事故8000日達成（8月2日）
10月 花いっぱい優良賞受賞（市）、航空写真撮影
- 11年 10月 花いっぱい優良賞受賞（市）・奨励賞受賞（県）
- 12年 2月 児童版画展学校賞（優秀賞）受賞
8月 プールに新循環装置設置、給食室改修工事
- 13年 8月 交通安全無事故9,000日達成
11月 徳山管区小規模校教育振興会指定研究発表大会
- 14年 11月 学校評議員会設置
- 15年 3月 プール側7壁・底面の表面張替改修工事
7月 NHK教育番組出演（総合的な学習の時間）
11月 花いっぱい優良賞受賞（市）
- 16年 1月 交通安全無事故10,000日達成記念式典、航空写真撮影
8月 台風18号被害（講堂屋根・体育倉庫）
12月 NHK教育番組出演「たったひとつの地球」
- 17年 10月 KRYラジオ「笠戸太鼓」放送
11月 新体育倉庫設置
- 18年 1月 幼小連絡会設置
3月 ひじき取り 放映 新聞記事
3月 Kビジョン「笠戸小」放映
4月 講堂床張替
10月 ゴミステーション 校舎裏に移動
10月 アイデア貯金箱コンクール学校賞 受賞
- 19年 3月 1・2年及び3・4年教室床張替
4月 運動場西側花壇完成
10月 花いっぱい努力賞受賞（市）
10月 サルビア一鉢市議会議長賞受賞
10月 開校130周年記念笠戸太鼓新曲「絆」披露
11月 交流学习持久走大会実施（本浦地区）
- 20年 3月 創立130周年記念PTA文庫新設
- 21年 4月 校門前ポール台設置
7月 環境衛生功労者表彰
11月 文集「笠戸」発刊
- 22年 7月 小さな親切運動実行賞受賞
12月 講堂体育倉庫新設
- 23年 1月 読売新聞 クリーン作戦 新聞記事
1月 スキー教室実施（めがひらスキー場）
11月 「人権を考える集い」で「笠戸太鼓」披露
- 24年 3月 運動場西側道路設置
3月 正門入り口手すり工事
12月 スケート学習教室実施
- 25年 1月 スケート学習教室実施
2月 講堂スイッチ付け替え工事
8月 日本ジャンボリー下松市歓迎行事に笠戸太鼓出演
10月 超人シェフのスーパー給食
11月 下松小への交流学习開始
- 26年 3月 閉校式典



笠戸太鼓結成

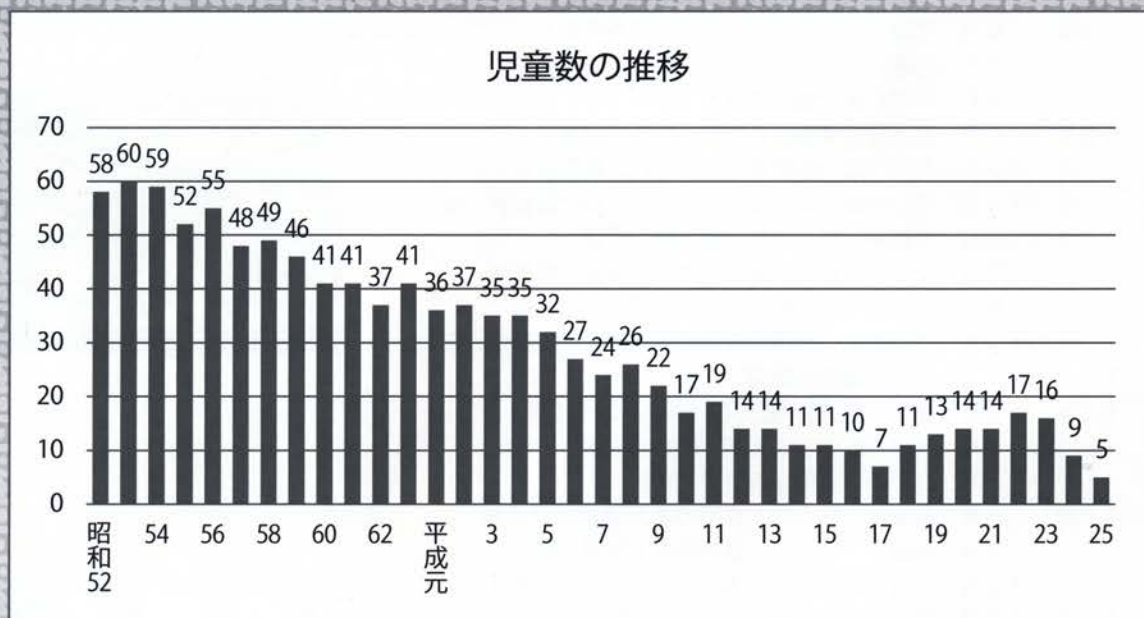


交通安全無事故10000日達成記念式典



創立130周年PTA文庫新設

■昭和52年度以降の児童数の推移



※最多児童数は、昭和19年度の164名

■昭和52年度以降の校長・PTA会長名

年度	校 長	P T A会長	年度	校 長	P T A会長
昭和52	佐々木雄造	土本 薫	平成 8	里谷 任泰	佐古 守俊
53	佐々木雄造	土本 薫	9	重枝 弘機	下村 利宏
54	高橋 正剛	三奈木賢治	10	重枝 弘機	下村 利宏
55	高橋 正剛	村上 忠宏	11	村上 清子	下村 利宏
56	高橋 正剛	村上 忠宏	12	村上 清子	原田太加雄
57	竹田 和夫	原田 省三	13	村上 清子	原田太加雄
58	竹田 和夫	枝川 正勝	14	上手 政国	原田太加雄
59	牛見 哲人	枝川 正勝	15	上手 政国	原田太加雄
60	牛見 哲人	枝川 正勝	16	安達 敏雄	原田太加雄
61	米田 宇一	枝川 正勝	17	安達 敏雄	原田太加雄
62	米田 宇一	橋本 透	18	安達 敏雄	原田太加雄
63	米田 宇一	橋本 透	19	西郷 稔	原田太加雄
平成 元	加賀 育哉	橋本 透	20	西郷 稔	原田 晃一
2	加賀 育哉	橋本 透	21	内山 勝美	原田 晃一
3	柳原 謙二	橋本 透	22	内山 勝美	松尾 一生
4	柳原 謙二	橋本 透	23	野口 鈴子	松尾 一生
5	柳原 謙二	佐古 守俊	24	野口 鈴子	原田 晃雄
6	里谷 任泰	佐古 守俊	25	溝部 哲正	原田 晃雄
7	里谷 任泰	佐古 守俊			

※昭和52年以前は「笠戸小学校百年史」に掲載あり

平成元年度以降の児童・教職員



平成元年度



平成2年度



平成3年度



平成4年度



平成5年度



平成6年度



平成7年度



平成8年度



平成 9 年度



平成 10 年度



平成 11 年度



平成 12 年度



平成 13 年度



平成 14 年度



平成 15 年度



平成 16 年度



平成 17 年度



平成 18 年度



平成 19 年度



平成 20 年度



平成 21 年度



平成 22 年度



平成 23 年度



平成 24 年度

卒業者名簿

昭和53年3月卒

石河	田村	浩久
下村	直克	之雄
西村	靖文	雄隆
西本	文道	宏正
原中	重美	佐子
弘木	真理	三千代
三奈		
東風		
浦本		
橋本		
橋本		

昭和54年3月卒

笠本	央男
東風	隆義
浦本	祐之
東風	朱美
浦本	真子
土本	和子
石田	育子
石田	すみ
枝川	玲香
東風	
浦本	
中原	
中本	
橋本	

昭和55年3月卒

石田	知昭
東風	秀美
浦村	雄二
下本	敏明
橋本	一則
早田	晃雄
原中	章文
弘木	高彦
三奈	信彦
三奈	恵明
木中	伸鈴
山原	美玲
中原	郁子
西村	ひろ
原上	みと
村本	ひと
山本	

昭和56年3月卒

石田	敦士
中原	正博
橋本	健太郎

橋山	典幸
本本	則敬
橋本	

昭和57年3月卒

石田	重和
石田	進文
橋本	孝幸
橋本	秀志
橋本	浩隆
橋本	一紀
原田	幸成
原田	浩二
古岡	優子
三奈	
村上	

昭和58年3月卒

橋本	直樹
原田	光洋
三奈	孝則
石田	真智
弘中	祥予

昭和59年3月卒

枝川	哲也
原田	剛志
原田	隆敬
山本	和龍
山本	里香
中原	京子
橋本	由美
山中	

昭和60年3月卒

神田	康助
中原	信幸
西本	幸二
原田	尚広
三奈	木辰
三奈	木充
石田	真奈
枝川	千恵
中原	志津
西村	美由
原田	紀恵

昭和61年3月卒

枝川	信貴
原田	晃一
原田	博之
山本	悦子
石田	純子
橋本	友子
橋本	二三子
藤井	真千子
藤井	こずえ
山本	

昭和62年3月卒

石田	めぐみ
神田	元子
橋本	香苗
橋本	早苗
橋本	貴子
橋山	ゆかり

昭和63年3月卒

島本	浩実
中原	永一
橋本	真寛
原田	寛美
西本	貴子
藤井	陽子

平成元年3月卒

西村	卓一
橋本	真英
橋本	一世
橋本	典次
原田	信美
山本	恵美
原田	久美
原田	直美
藤田	

平成2年3月卒

石丸	恵一
枝川	貴裕
土本	健太郎
岩崎	恵美子

平成3年3月卒

原田	巧人
溝内	正人

岩崎紀子
中原久美子
原田真弓
三奈木愛

平成4年3月卒

土本貴弘
原田豊文
東風浦千ズエ
橋本悦子
橋本千恵子
原田直子
原田一美子
原田好子
藤田友美

平成5年3月卒

下村賢吾
橋本賢慶
原田幸一
下村春菜
溝内香

平成6年3月卒

石丸公啓
佐古光俊
原田明慶
原田淳児
原田正樹
武居沙織
中原裕子
原田真理
原田幸枝

平成7年3月卒

棟近優一
下村智恵
下村恵子
土本裕子

平成8年3月卒

武居和典
佐古華恵
下村加
藤井由香
棟近輝香

平成9年3月卒

緒方義和
中原由加里
三奈木絵里

平成10年3月卒

中原将隆
棟近聡夫
緒方美穂
影山美歩
佐古妙子
下村智華
下村真世
渡邊真希子

平成11年3月卒

武居学
中原賢一

平成12年3月卒

下村晃平
影山知歩
西村美希
藤井あゆみ
三奈木理加
渡邊奈央子

平成13年3月卒

弘中彩水

平成14年3月卒

石田昇
影山理沙
西村彩志
橋本剛志
三奈木正直

平成15年3月卒

卒業者なし

平成16年3月卒

下村理恵
橋本真美
三奈木将司

平成17年3月卒

中原唯

西村沙樹
原田智理
弘中渉

平成18年3月卒

下村拓也

平成19年3月卒

中原萌

平成20年3月卒

河村颯大
原田慎太郎

平成21年3月卒

卒業者なし

平成22年3月卒

河村海生

平成23年3月卒

原田まもり

平成24年3月卒

河村泰雅
原田海斗
原田成人
森野望輝

平成25年3月卒

中原玲奈
藤井太雅
松尾一成

平成26年3月卒

枝川朋恵
原田陸斗

卒業者累計

1,566名

※昭和52年以前は、「笠戸小
学校百年史」に掲載あり

写真で綴る学校生活

昭和30年代



昭和30年頃 水槽への海水くみ



昭和30年度 家庭科クラブ活動



昭和30年度 全校朝会



昭和32年頃 学芸会



昭和33年度 緑陰教室



昭和33年度 広島へ修学旅行



昭和35年度 新校舎竣工



昭和38年度 須磨小との交歓会見送り

昭和40年代



昭和41年頃 宿直の先生と学習会



昭和41年度 はにわ園で卒業写真



昭和41年度 遠泳



昭和41年頃 林間学校



昭和42年頃
分校の皆さんと
キャンプファイヤー



昭和47年度
巡航船廃止

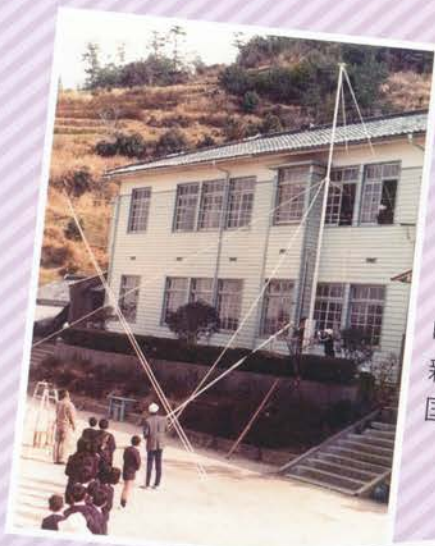


昭和48年度
誕生会



昭和49年度 芋掘り

昭和50年代



昭和51年度
新しくなった
国旗掲揚台



昭和54年度 PTA作業池の清掃



昭和55年度 持久走大会



昭和56年度 お花見給食



昭和57年度 東風浦遠足



昭和58年度 研究発表会



昭和58年度 竹馬競争



昭和59年度 鼓笛隊パレード

昭和60年度～昭和63年度（昭和の終わり）



昭和60年度 児童会役員任命



昭和60年度 書き初め



昭和61年度 春のこいのぼり運動会準備



昭和61年度 親子ふれあい焼き物教室



昭和62年度 スポーツテスト



昭和62年度 田植え



昭和63年度 学習発表会



昭和63年度 春の小運動会

平成元年度～平成9年度



平成元年度 スケッチ大会



平成2年度 一輪車練習



平成3年度 島三校水泳大会



平成5年度 新入児一日入学



平成6年度 見学旅行



平成7年度 笠戸の自然を見直す会



平成8年度 笠戸太鼓結成



平成9年度 みかん狩り

平成10年度～平成14年度



平成10年度 避難（消火）訓練



平成11年度 島三校宿泊学習



平成12年度 秋季大運動会



平成13年度 交通安全教室



平成14年度 七浦小唄



平成14年度 どんど焼き



平成14年度 笠戸の自然を見直す会

平成15年度～平成19年度



平成15年度 NHK教育番組出演



平成15年度 ふれあい集会



平成16年度
環境学習



平成16年度 東風浦散策



平成17年度 ひじき採り



平成18年度 授業風景



平成19年度 サルビア土づくり



平成19年度 中国人留学生との交流

平成20年度～平成24年度



平成20年度 稚魚放流



平成20年度 釣りクラブ



平成21年度 大根収穫



平成22年度 ALTの授業



平成22年度 市陸上競技大会



平成23年度 スキー教室



平成23年度 地域見守り隊感謝の会



平成24年度 スケート教室

平成25年度 ～今～

伝統ある笠戸太鼓



笠戸小最後の大運動会



ふれあい



図書&ひとこま



見学旅行



授業風景





みんなの心を合わせて

枝 川 結 香

私は、心に残っている事が2つあります。

1つ目は、笠戸太こです。1年生のころは、平太こで、他の太ことは音がちがってあまり上手にできませんでした。2年生では、あまり他の人の音を聞いてもつられなくなりました。3年生では、パートが変わってしめ太こになりました。最初は、パートが変わってまったくパートが分かりませんでした。

4年生では、だんだんしめのパートが分かってきて、上手にたたけるようになりました。最後の音楽祭ではみんなが心を合わせてとてもいい音が出ました。2つ目は一輪車です。1年生のころは、こわくてのぼりぼうを持ってこぐことしかできませんでした。でも2年生になるとちょっとずつ手がはなせるようになりました。3年生になるともう手をはなせるようになって、4年生になると1人乗りができるようになりました。最初のころは、太こや一輪車が上手にできなかったけど今は上手になりました。たくさんの思い出ができてうれしかったです。



楽しかった思い出

中 原 碧 唯

ぼくは、一輪車に始め乗れませんでした。練習を積み重ねたらできるようになりました。バランスをとって乗れるようになりました。4年生の「風車」の時に、アイドリングをして中心ができるようになりました。心をつにいてがんばりました。

次に「わらびとり」が心に残っています。山を登って行くのは、大変だったけど苦労したからおいしいわらびがとれました。家でつくだににしてもらっておいしかったです。

2年生の時に持久走大会で1位になりました。最後に、運動場のトラックを走る時、力をふりしぼって走りました。そしたら、半周ぐらいの差で勝ちました。がんばったことが思い出です。

太こもたくさん教えてもらいました。おけだいで一人だったから、はじめは無理だと思いました。ぼくだけちがうパートだったけど練習して本番ではまちがえませんでした。いいえんそうが自分でもできたと思いました。



一生わすれない宝物

原 田 小 春

わたしの笠戸小学校での最高の思い出は、運動会です。応えん合戦では、夏に一生けんめい考えた応えんや三・三・七びょうしを練習して本番にはつきしました。私は、副団長として、大きな声を出してがんばりました。

赤白リレーでは、始めの陸斗さんが差をつけて2番にわたしが走りました。こけそうになったけどなんとか走りとげました。そしてリレーは、白が勝ちました。

一輪車は、最初に4年生がやりました。練習の時何度もしっばいをし、こまっていました。でも運動会では、碧唯さんが「せーの。」と言ったら成功し、バランスをくずさずできました。1年生の時から全校児童でしている笠戸大橋が最後でした。こしをピンと伸ばしてバランスがとれました。もう閉校になってしまうけど笠戸小学校は、一生わすれない宝物の一つです。最高の思い出です。



たくさんのことを学んだ笠戸小学校

枝 川 朋 恵

私は、この大好きな笠戸小学校でたくさんのことができるようになり、たくさんのことを学びました。

できるようになったのは、一輪車です。1年生の時は、一輪車に乗るのが初めてで、とてもドキドキしていました。それに1人乗りがまったくできませんでした。4年生ぐらいになっても、毎回はできなくて、とてもあせっていました。でも、今では、1人乗りもできるようになり、ロングフラミンゴにも乗れるようになりました。ロングフラミンゴが乗れるようにまで成長したのは、1人1台一輪車があったからだと思います。大きな学校では、1人1台ないと思うので、笠戸小学校でとてもうれしいです。

学べたことは、勉強です。1年生から6年生まで、人数が少ないことで、一人一人見てもらっていました。算数や国語で、分からない所があると、すぐ先生が教えてくださいました。1年生では、計算と漢字が苦手でした。でも、今では計算と漢字があまり苦手ではなくなりました。苦手ではなくなったのは、先生が分かりやすく教えてくださったからだと思います。笠戸小学校で、たくさん勉強ができて、とてもうれしかったです。中学校に行ったら、得意な教科を増やしたいです。

私は、笠戸小学校が閉校になって、とても悲しいです。でも、笠戸小学校で卒業式ができて、とてもうれしいです。それに、たくさんのことができるようになったり、学んだりできて、とてもいい思い出になりました。笠戸小学校で過ごせて、とてもうれしいです。



お世話になった笠戸小学校

6年間の思い出を…ありがとう

原 田 陸 斗

ぼくは、笠戸小学校で色々な事を学びました。そして、とてもお世話になりました。特に、小さい学校ならではの1人1台の一輪車や伝統がいっぱいの笠戸太鼓などをやらせていただき心も身体も成長しました。

まず、笠戸太鼓は1年生の時に上の学年のお兄さん、お姉さんがたたきかたを優しく教えてくださいました。最初の音楽祭は竹太鼓をたたかせてもらいました。とてもきんちょうしたけど人数が15人もいたのでみんながカバーしあえました。とても堂々とたたけました。しかし、6年生になると5人しかいなくなったので、まちがえないようにやろうとして、堂々とたたけませんでした。でも、色々な方から、「上手やね〜」「ようがんばった。」などと声をかけていただきました。とても嬉しいです、少しほこらしく感じます。

他にも、1年生のころから乗っている一輪車では初めて乗れた時の感動は今も心の中に残っています。特に、1年生のころの運動会でみんなの前で演技するのは、はずかしかったしとても不安でした。でも、6年生最後の運動会では、ロングフラミンゴにのれたのがとてもうれしかったです。1生に1度のいいけいけんになりました。そして、はずかしがらず笑顔で乗れました。

6年間色々な体験をさせてもらって、太鼓でリズム感をつけさせてもらいました。一輪車では、バランス感覚を身に付けさせてもらいました。この経験を中学校で、十分に発揮したいと思います。6年間ありがとうございました。

平成25年度 笠戸小学校最後の児童・教職員



教職員メッセージ



教務主任・4, 6学年担任
西村 美恵

キラキラ輝く海に見守られ感性豊かに育った子ども達。心をつにして演奏した笠戸太鼓の響き。運動会での一輪車の笠戸大橋。心豊かに表現した作文タイム。2学年で学んだ複式学習……。一つ一つが輝いている大切な宝物です。ありがとうございました。



養護教諭
田崎 久美子

初めて笠戸小学校に来た時、赤い屋根のレトロな校舎が素敵だなと思ったのを覚えています。閉校はとてもさみしいですが、心の中に、しっかり笠戸小学校の思い出をしまっておこうと思います。たくさんの出会いをありがとうございました。



主事
武居 博美

子ども達が毎日元気に登校し、楽しく学べる環境でありたいと思う2年間でした。閉校となるのはさびしいですが、子ども達が元気に頑張ってくれますよう、この日が新たなスタートとなるよう祈っています。



給食調理員
松尾 珠美

もゆる緑 潮風そよぎ 陽の光降り注ぐ笠戸島での2年間、豊かな島の営みに本物の地産地消を体験できた事は給食調理員の宝物です。笠戸小学校136年の歴史の中で勤務できた事に感謝です。沢山の笠戸の恵、ごちそうさまでした。ありがとうございました。



非常勤講師
鶴崎 知恵

1年という短い期間でしたが、子ども達と勉強したり、遊んだり、話をしたり、とても濃い時間を過ごすことができました。

閉校になるのは残念ですが、新しい環境でもがんばってください。

ありがとうございました。



非常勤講師
渡邊 律子

赤い笠戸大橋のアーチをくぐり抜けると、レトロな校舎と5人の笑顔が、いつも迎えてくれました。閉校となるのはさびしいですが、笠戸小学校の心温まる空間と子ども達のくったくのない優しい表情を、心の中に大切に残していきたいと思います。



本浦地区全景

下松市立笠戸小学校閉校記念誌

忘れえぬ記憶 私たちの笠戸小学校

発行年	平成 26 年 3 月
編集者	下松市立笠戸小学校
発行者	下 松 市
	下松市教育委員会
印刷所	佃 印 刷 所

